

◆ 千葉県がんセンターにおける乳がん治療成績・診断に関する後方視的調査研究（2025）

1. 研究の対象となる方

2000 年 1 月～2025 年 5 月 31 日に当センター乳腺外科で診察をされた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

乳がんの罹患率は毎年上昇傾向にあります。一方、薬物療法の進歩は目覚ましく無病生存期間、全生存期間は向上しているように思われます。がん専門病院として、より良い治療を提供するためには、当施設での治療成績を定期的に後方視的に解析し、世界および国内水準と比較することは重要です。そこで本研究では 2000 年 1 月～2025 年 5 月に当センターを受診し、乳がんの診断で手術または抗がん剤治療をされた全患者の治療に関してカルテをもとに後方視的に解析する観察研究を計画しました。診療に貢献する有用な研究成果が得られた場合は、学会発表または学術誌へ投稿する予定です。

【想定している解析・発表内容】

- ①千葉県乳がん地域連携の役割
- ②乳がん術前リンパ節診断の画像診断能
- ③乳がん手術に伴うリンパ浮腫発生の予測因子の解析
- ④乳がん術前化学療法後のセンチネルリンパ節転移診断と予後解析
- ⑤乳がんセンチネルリンパ節の微小転移および節外浸潤と予後との相関
- ⑥進行・再発乳がんの late line 治療の成績
- ⑦切除不能乳癌に対する初期薬物療法（内分泌療法と化学療法）の治療成績
- ⑧乳がん脳転移に対する早期発見の意義と脳転移予測因子の検討
- ⑨乳がん骨転移診断 bone scan index の有用性 定量化の意義と予後との相関
- ⑩終末期乳がんの緩和医療移行後の生命予後予測因子の検討
- ⑪乳癌術後の放射線照射および化学療法による早期および晩期有害事象の検討
- ⑫人工知能によるマンモグラフィ診断

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、治療歴、病理所見、手術所見、副作用等の発生状況、等

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター 乳腺外科 研究責任者:中村力也

5. 個人情報の取り扱いについて

電子カルテからの個人情報収集は研究責任者、研究分担者が各々行います。収集した個人情報の取り扱いは「千葉県がんセンターの診療・研究・教育等に係る患者個人情報取扱規程(令和7年1月14日改訂施行)」に従います。収集した個人情報は匿名化せず、当センター内だけで利用します。研究対象者等が研究組み入れの拒否を表明した場合、公表前であれば該当する個人情報を完全に消去します。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究に必要な経費はありません。研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会が適切に管理しています。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会で承認され、病院長から研究実施の許可が得られています。

8. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する試料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 乳腺外科 部長 中村力也

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)